

はばたくなら ③⑦

幼小交流から学ぶ

～教師・園児・児童にとって

学び合える関係づくりへ～

取組について

■新型コロナウイルス感染症のため、園児と児童との関わりがなかなかもてないまま3年が過ぎ、感染症法上の位置付けが5類に引き下げられた。そこで、小学校との関わりを再開するにあたり大和高田市立片塩小学校の先生方と共にアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムが現在の園児・児童の実態にあったカリキュラムであるかどうかを見直していきたいと考えた。カリキュラムを見直すことにより、幼児教育から小学校教育への互恵性のある学びの接続となるようにと願い取り組んだ。

■上記のような実態を踏まえ・・・

まず、小学校とつながることを大切に考え、園児児童が交流できる機会をもつこと、そして更に、交流だけでは終わらず事前事後の教師の話し合う時間を少しでももつように働きかけることが大切であると考え。園と小学校との課題や交流内容・互いの育ちを出し合い、改善点を踏まえ次の交流へとつなげていきたい。

～学び合いの関係づくりへ～

○小学校との交流を通して、子どもへの声の掛け方や、指導方法の違いを互いに知っておくことが大切であると感じた。また、時間にゆとりがある幼児期に、じっくり取り組める遊びや活動の中で子どもが興味・関心に基づいた体験を重ねていることや、遊びの中の学びを10の姿の具体的な姿で捉え発信することの必要性を感じた。しかし、合同会議、定期的・継続的な話合いの場の確保の難しさがあり、今後の課題である。

○小学校では1時間の学習内容が明確で、柔軟に進めることは難しいと感じた。一方、幼稚園では、活動内容と子どもの姿を合わせ柔軟に変えることができる。子どもたちのなぜ?どうして?と、疑問がうまれた時にみんなで考え、感じたり、想像したりする場面を大切にしていきたい。

子どもは、心を動かす体験を通して表現する力を身に付ける。それぞれに感じたり受け止めたりしたことをため込み、経験を重ねている。この心を動かすことを通してため込んだものをその子なりの言葉や動きで表し周りの教師や友達から認められ、自分の力を発揮する喜びを感じる経験を大切にしていきたい。

○小学校や幼稚園の実態はずっと同じではない。その都度カリキュラムの見直しをしていくことの大切さを感じた。

実践事例 接続に向けての取組（小学校との話し合い）

○子どもの姿を伝え合う【6月】

（年長5歳児）

・クラスの半数の幼児が支援を必要とする。発達の幼い幼児が多い。
・言葉で伝えることが苦手で暴言を吐くことや、手が出てしまうこともある。



（1年生）

・両クラス共に幼い児童が多く、授業中座っていることが難しい。
・不安傾向が強かったり、やりたくないことから逃げたりする児童もいる。
・筆圧が弱い。
・メンタルが弱い。



★ 気になる子どもの姿を出し合うことで、課題を共有することができ、幼稚園で育てていきたい力について考えることにつながった。

【交流予定・職員研修予定について】

○年間を通して：クラスだより（幼）と学年だより（1年生）の交流
○1学期：夏の遊びをしよう（交流）・スタートカリキュラムの見直し（職員研修）
○2学期：秋を見つけて遊ぼう（交流）
○3学期：給食を一緒に食べよう（交流）

【園として大切にしたいこと】

○園児・児童が互いに“関わるよさを実感”できるように…
○幼稚園・小学校互いの教育を知ることができるように…

日時	令和5年7月3日（月）・7月4日（火）	場所：片塩幼稚園
交流テーマ	夏の遊びをしよう（小学校A組とB組に分かれ、2日間の交流をした。）	
ねらい	<p>【幼稚園・小学校】 ○水遊びを通して異年齢児との触れ合いを楽しむ。</p> <p>【幼稚園】 ○水遊びをする中で、気付いたことや考えたこと等を1年生と伝え合おうとする。</p> <p>【小学校】 ○自分の育てた草花や身の周りの花・種などを使っていろいろな遊びを工夫し、楽しむことができる。 ○シャボン玉遊びや砂場遊びを通して夏がきたことに気付き、友達と仲良く夏の遊びを楽しむことができる。</p>	

《色水遊び》

主な準備物：花（マリーゴールド、サルビア、おしろい花、朝顔）
すり鉢・すりこぎ・ペットボトル・漏斗・ビニール袋・たらい等

どれくらい水を入れてたらいかな？



いっぱい水を入れてはいけないよ。

ビニール袋を使って色水を作るよ。
【自立心】



花を混ぜて（色水）を作ると友だちと違う色ができたよ。
【思考力の芽生え】

小学校教師の声

幼児・児童の声

幼稚園教師の声

【10の姿】

★幼稚園の姿
☆小学校の姿

だんだん色が出てきてる。きれいだね。どうやってするの？
【言葉による伝え合い】



貸して。やってあげるよ。
【道徳・規範意識の芽生え】

★園で色水遊びをした経験があり、園児は使い慣れたすり鉢とすりこぎを使って色水遊びを楽しんでいた。1年生が透明な色の色水を作ろうと考え、水の量を調節している姿に刺激を受け、水の加え方を教えてもらいながら遊んでいく姿がみられた。

☆1年生の児童は初めて使う容器でも先生や園児に使い方を尋ねながら自分なりに工夫し、花をすり鉢やすりこぎ・じょうごを使って色水を作ることを存分に楽しんでいた。

《砂場での遊び》

主な準備物：たらい・水・スコップ・バケツ・とい・ホース等

ここから水を流すよ
【協同性】

どうしたらいいかな？

泥んこ遊び、初めてした！
ぬるぬるして気持ち悪いでも
なんか気持ちいい！
【豊かな感性と表現】

砂と水を
混ぜてみよう。
どんどん重く
なってきた。
【思考力の芽
生え】

高くするとどうなる？
低くするとどうなる？

☆1年生の中には、初めて経験する児童もいたが、園児と一緒に水の流す方向やタイミングなど声をかけ合いながら夢中になって穴や川を掘り楽しんでた。

★幼児にとっては繰り返している遊びであるが、1年生と一緒に遊ぶことで、水を流す高さや樋のつなげ方など新たな発見があり、よりダイナミックに遊び楽しんでた。自分たちが経験している遊びであることや、用具を使い慣れていることから、安心して遊びに取り組んでいた。

○交流活動の振り返り

【幼稚園職員より】

- ・声掛けの違い
子どもへの掛ける言葉や表現の仕方では子どもがイメージしやすい言葉を使い、短く端的に使用することが参考になった。
- ・環境について
園児が園の素材や環境を十分活かしながらダイナミックに楽しんでいる様子は、小学校の先生方の予想をはるかに超えるものであった。園の遊びの様子を知らせる必要性を感じた。
- ・子どもの思い
1年生への憧れの気持ちから、遊び方をよく観察し、真似てみたり不思議に思い気付いたり試したりするなど、普段よりじっくり遊んでいた。

【小学校職員より】

- ・環境について
事前に自己紹介やゲームをするなど交流する機会をもつことで、深く交流することができたのではないかと感じた。
1年生が園児に遊びを教えてもらうことが多かった。小学校で遊ぶ機会を1学期の最初にもつことで1年生が“教えてあげたいな”という気持ちももてたのではないと思う。（さらに2学期の交流へつながった。）
園で様々な種類の用具、素材を準備されていたので生活科の授業が充実した。
- ・子どもの思い
1年生の児童の中で気持ちの切り替えができにくい子もいるが、“自分が見本にならないと”という気持ちももてた。

○カリキュラムの見直し

【アプローチカリキュラムの見直し】

- 目的
地域の子どもの実態・身に付けたい力を共有し、同じ小学校へ就学する幼児のカリキュラムを作成する。
- 幼稚園と保育所で作成する。
・場所：7月 幼稚園にて 12月保育所にて
・メンバー：幼稚園 園長・3.5歳児担任 保育所 主任・5歳児担任
- 内容
・生活する力、関わる力、学びに向かう力それぞれの項目について話し合い、地域の幼児の姿となるよう見直し、考え合った。
・幼保交流の継続の大切さと、子どもたちの実態を共に考え合い、接続カリキュラムの見直しの必要性があると再確認した。

令和5年度 片塩小学校・片塩幼稚園・片塩保育所・みどり保育所 接続カリキュラム

<幼稚園 年長5歳児> アプローチカリキュラム		幼 ま で に 健 こ こ ら で
育てたい姿	具体的な手立て	
<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なルールを守り、安全に行動しようとする。... ・決まった時間に就寝、起床し、毎食きちんと食べるなど、規則正しい生活ができるようにする。... ・健康安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。... 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活を自分たちで考え進めようとする幼児の姿を大切に、見守ったり手助けをしたりする。... ・小学校生活をイメージし、基本的な生活習慣が自立するよう活動の流れを見直し、登園時間を守るができるようにする。... ・生活に見通しがもてるよう、スケジュールボードや時計を用いて知らせる。... ・時間を決め、時間内に給食を食べようとする機会をもつ。... 	



【スタートカリキュラムの見直し】

- 幼稚園と小学校で見直す。
・場所：7月 幼稚園にて
・メンバー：幼稚園・3.5歳児担任 小学校・1年生担任
- 内容
・今回の交流を通して生活科の学習とのつながりがあることや幼児の遊びの様子から、育てたい姿に追記した。
・1年生1学期のキーワードは、『遅刻を減らしていく』となっている。小学校生活を円滑にスタートできるよう、生活リズムの確立に向け「早く幼稚園に行きたい。」と思えるような保育内容の工夫が必要であり取り組んでいる。



<小学校 1年生> スタートカリキュラム		幼 ま で に 健 こ こ ら で
育てたい姿	具体的な手立て	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールを知り安全に登下校する。... ・規則正しい生活をする。... ・トイレや手洗いを正しく使う。... ・チャイムの合図で行動する。... ・学習の準備や片付けをする。... ・マナーを守って楽しく食事をする。... 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時の班長と安全に登校できるよう交通ルールや下校の指導を行う。... ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付くよう家庭に啓発し、遅刻回数を減らしていく。... ・正しいトイレの使い方や伝えたり、休み時間に用便を済ませ、チャイムを意識して次の授業の準備をしたりするよう促す。... ・1日の流れや準備物、整頓の仕方が視覚でも確認できるように掲示する。... ・給食当番や身支度の仕方が身に付くよう繰り返し指導する。... 	